

吹田市教育研究大会報告

平成 23 年 9 月 2 6 日

吹田市教育研究大会
事務局 発行

去る 8 月 3 0 日（火）第 5 回目の吹田市教育研究大会を「学校がすき・^{うち}家庭がすき・^{まち}地域がすき～地域に根ざした質の高い公教育の創造～」を大会テーマとして、メイシアター及び商工会議所にて開催いたしました。小学校は午前中授業をした後の半日開催でしたが、全体会に引き続き 7 つの分科会を行うとともに、5 本の展示報告がありました。全体では、吹田市内幼稚園、小・中学校の教職員、保護者延べ 1 4 8 2 名の参加をいただきました。各分科会や展示報告では、各学校園での取組の発信もたくさんあり、吹田市内の学校園の実践を共有化することができました。

多数の皆さんの参加、実践報告、そして会のスムーズな進行にあたってご協力いただき、ありがとうございました。今年度は、耐震工事などで参加できない学校があったにもかかわらず、たくさんの参加をいただいたこと、また多くの現場の教職員の方が分科会の報告者やパネリストとして、また当日のスタッフとして大会の運営に参画いただいたことが特筆されます。また、アンケートによるご意見や感想を、次年度以降の企画・運営に生かしていきたいと思えます。研究大会の皆さんからのアンケート集約の一部と、全体会（基調講演）・各分科会等の様子を紹介します。（◆参加者感想）

参加者アンケート結果

分科会／全体会	参加 人数	アンケート 回収数	アンケート 回収率	アンケート集計			
				とても良 かった	良かった	余り良 く なかった	良くな かった
全体会	1456	521	35.8%	14.9%	38.0%	36.1%	11.0%
A. 豊かな心と体を育む	123	64	52.0%	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%
B. ICT活用で学力向上をはかる	149	52	34.9%	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%
C. 全ての子どもに確かな学力を育む	330	134	40.6%	30.1%	67.6%	2.2%	0.0%
D. コミュニケーション力を育む外国語活動	97	41	42.3%	50.0%	47.2%	2.8%	0.0%
E. 学校パワーアップ	163	64	39.3%	81.3%	18.8%	0.0%	0.0%
F. 豊かな心を育む子育て支援 ※ （保護者参加）	26	11	42.3%	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%
	443	166	37.5%	38.1%	55.0%	6.3%	0.6%
G. 授業研究で学力向上をめざす	151	69	45.7%	49.2%	49.2%	1.5%	0.0%
展示報告		137	9.4%	8.7%	72.0%	2.0%	17.3%
合計 / 平均	1482 人	1259	37.5%	51.4%	40.6%	5.1%	2.9%

※上段は保護者

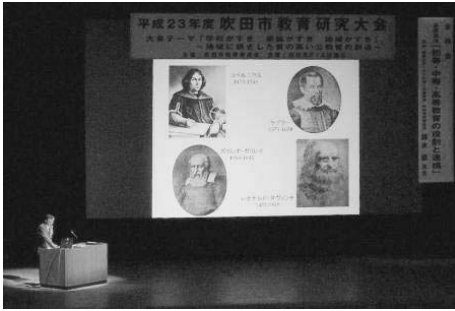
全体会 小中一貫教育校取組報告・基調講演

【報 告】小中一貫教育校「千里みらい夢学園の取組」

【基調講演】「初等・中等・高等教育の役割と連携」

関西大学システム理工学部 教授（吹田市教育委員会委員長職務代理者） 鈴木 直

報告では、今年度開校した千里みらい夢学園のコンセプトや1学期の取組について報告いただきました。特に今年度から始まった2小学校6年生の中学校登校など、吹田市の小中一貫教育のリーディングスクールとしての具体的な取組を聞くことができました。基調講演では、本市の教育委員長職務代理者でもある 鈴木 直 教授より、初等・中等・高等教育のそれぞれの役割について、また連携のあり方について、自身の体験をもとにご示唆いただきました。また、専門分野の科学教育についても科学と文化という視点で、興味深いお話をいただきました。



◆9年間を見通した教育の大切さがわかりました。共通の目標を持つことの大切さが良くわかりました。／小・中一貫の報告では実際の教室や子ども達の様子を写真で見られて、雰囲気良くわかった。／
◆様々な経験をされた上での発言に多くの示唆をいただきました。小・中の教員経験のない方の意見を聞く機会がとても大切だと思います。／時間が短く「科学教育」についてもっと詳しく話していただきたかった。企業経営と、教育機関の運営の違いが印象深く、私たち学校・教師のあるべき姿についてよい方向を示していただき励まされた。

A分科会 豊かな心と体を育む

はじめに吹田第一幼稚園より研究報告がありました。体をつかってのびのび遊ぶ楽しさを感じられるような環境づくりや教師の援助について、報告いただきました。次に、近畿農政局の中尾卓嗣指導官に「心と体を育む食教育」というテーマで講演がありました。食生活が、体や心や学力だけでなく、家族など人とのつながりにも大きく影響していくということを、実践例をもとにお話いただきました。



◆幼稚園での集団づくりや様々な運動経験の工夫がわかり、小学校でも大事にしたいと思った。／少人数で今ある環境空間を活かし、工夫たっぷりの実践をされている発表に感心した。／生きるためだけでなく、食を通じて身体や心を育てるといふ熱いものを感じ感動した。／食育という枠を越え、家族の愛情や思いやり、人とのかけがえが子ども達や人の成長にもっとも必要であることがわかった。／家庭科教諭として食育の大切さを少しでも子ども達に伝えられたらと思う。

B分科会 ICT活用で学力向上をはかる

はじめに、ICT活用研究グループの研究報告がありました。ICT活用における効果についてと、子どもたちがICT機器を活用して情報活用能力を育む授業実践の報告でした。次に吹田市の取組として、子どもたちがいろいろな県を紹介するためにICT機器を活用した吹田第一小学校の実践、また学年での道徳の取組にICTを活用した山田東中学校の実践について発表がありました。



最後に、吹田の取組をふまえ、和歌山大学の豊田充崇准教授から、「学習効果を高めるためのICT活用」というテーマで講演いただきました。

◆ICTによって児童を単なる視聴者にさせないように授業研究、児童への問いかけが大切だと思った。／学校での活用例や先進のICT活用方法を知ることができて良かった。／工夫された授業や他府県の活用事例に感心した。／講師の豊田先生の説明がとてもわかりやすかった。／ICT活用が授業での指導力を補う手段にならないことが重要であると思った。

C分科会 全ての子どもに確かな学力を育む

ー算数・数学科における基礎基本の力と思考力ー

第1部では、発達理解研究グループより、「誤り分析」による手立てを丁寧にしていくことで、学力や意欲の向上につながるという報告がありました。第2部では、神戸親和女子大学の森田安德准教授をはじめ吹田市内の小・中学校の先生方をパネリストに「思考力と基礎基本の力を考える」パネルディスカッションを行いました。思考力・表現力を育てるための問題解決学習を進めるにあたって、学びの差にどう対応するか等、意見を出し合いました。第3部では、星槎大学の伊藤一美准教授に、これまでの話をうけて助言いただきました。

◆3部構成がすべてつながった内容でした。算数の窓口から、言語力、思考力、表現力、基礎の力・・・幼児期の様々な概念を培うことに力を入れていきたいと思いました。／2年目の先生と8年目の自分自身と重なる部分があり、何年経っても同じ悩みがあるんだなあと感じた。伊藤先生のお話もとてもよかったです。／非常に内容の高い研修内容であったと思います。藤田先生の言葉にあったように、個々の教員で取り組むのではなく、学校レベルや市（府）レベルで取り組むことが大切だと感じました。



D分科会 コミュニケーション力を育む外国語活動

ー豊かな実践と小中のつながりを考えるー



第1部では、小学校英語研究グループより「ICT活用、授業づくり」の提案、また「プロジェクト型学習」の実践報告がありました。第2部では、小中一貫教育校「千里みらい夢学園」から9年間の学びをふまえた取組について報告がありました。第3部では、「外国語活動における小中のつながりを考える」をテーマにパネルディスカッションを行いました。小・中学校のそれぞれの立場から、外国語活動と英語のつながりについて提案がありました。スムーズな連携に向けて今後も実践を積み重ね、交流をしていく必要があることを確認しました。

◆外国語活動の目標や取組の方向がよくわかり、よい報告やパネルディスカッションだった。／授業実践をたくさん紹介していただき、たいへん参考になりました。デジタル教材の作成やプロジェクト型にチャレンジしてみたいと思いました。千里みらい夢学園のように、ブロック小中の英語部会が持てたらと思います。／中学校の英語教諭の私自身、数回小学校へ出前授業に行き、小学校の子ども達の英語への関心の深さを身をもって感じました。しかし、中学校に入るとその興味がだんだんうすれていってしまうのを日々残念に思っています。授業の進め方をもう一度考え直すいい機会になったと思います。

E分科会 学校パワーアップ ー経験や実践を通して学校をつくるー

はじめに吹田市の元気アッププランで今夏カナダのバンクーバーに視察に行った4名の教員による報告がありました。カナダの教育について現地の様子を詳しく報告いただきました。つぎに、福井市教育委員会の南部隆幸指導主事に「授業づくりは学校づくり」をテーマに講演いただきました。福井の教育、また自身が中学校の理科教諭だったときのお話など、授業づくりや授業改善で学校を変えるための多くの示唆を得ることができました。



◆授業づくりについて、改めて考えさせられた。2学期からの授業を頑張ろうと前向きな気持ちになった。／カナダ、福井県という異なる環境での教育システムに触れることができて勉強になった。／南部指導主事の豊かな経験に基づいた話でわかりやすかった。子どもたちにとってどうか考えて授業を組み立てていきたい。／授業のユニバーサル化は、我が校の学力向上委員会で取り上げていこうと思った。

F分科会 豊かな心を育む子育て支援（保護者参加分科会）

保護者も参加の分科会として、今年度より山田青少年拠点夢つながり未来館の館長に就任した森田ゆり先生の講演「しつけと体罰」を行いました。体罰が子どもにどんな影響をあたえるのか、しつけの目的(自立・自律)や、子どもの怒りの裏側を読み取ることなど、親や教師にとって子どもと接するうえで大切なことを再認識する講演でした。



◆“しつけ”は“躾”と思っていましたが“仕付け”をする大切さに初めて気付きました。本縫いは子ども自身でやらなければいけないんですね。／体罰や暴力が子どもの気持ち、将来、成長にとっても影響があることがわかり怖くなりました。子どもの絵を見るとつらくなりました。改めて、子どもの気持ちに寄り添って、生徒と関わっていこうと思いました。

◆(保護者より)森田先生の言葉は一言ひとこと重みを感じられました。育児をしていると虐待は紙一重だと思います。先生のご講演やプログラムが各地で聞けたり体験できたりすると日本の虐待も減るように感じました。

G分科会 授業研究で学力向上をめざす ー吹田市教育研究会各部からの実践報告ー

小学校教育研究会から体育部・国語部・児童文化部・家庭科部が、また中学校教育研究会から道徳部から報告がありました。

各部それぞれ趣向を凝らした実践報告で、水泳指導・漢字・表現活動・調理実習など、明日からすぐに活用できたり参考にできたりする報告ばかりでした。中学校道徳部の報告では、先の東日本大震災を教材に実践例の報告がありました。



◆いろいろな取組が聞けて参考になりました。すぐに使えること、今後使えそうなヒントをもらえました。いろいろな教科でそれぞれ若い人が頑張っているんだなと思いました。／どの学研の発表も実際に持ち帰りクラスに返していけるような実践ばかりで参考になりました。道徳では中学校での様子がわかりそこにつなげられるように小学校でも頑張りたいです。／印象に残った報告は、児童文化部のみなさんが表現を通してコミュニケーション力を高めることをめざして取り組まれている、幼稚園の子どもたちにもできそうな表現方法もあり、やってみたくまりました。他の報告も中身の濃いものでした。大変勉強になりました。

展示報告

今年度は、5つの展示報告がありました。幼稚園教育研究部会からは園児たちの発想豊かな作品、小学校教育研究会図工部より実践報告、同じく社会科部から研究内容や改訂された副読本の説明などの展示、JICA国際協力機構の事業紹介、平成22年度のじんけん作品受賞作品の展示がありました。また、中学校支援教育部からはDVDでの映像展示がありました。時間をかけて準備をした各展示ですが、全体会が延びた関係で見学の時間を充分にとることができなかったのが課題となりました。



◆たくさんの展示物、アイディアにふれる事ができました。ありがとうございました。／じんけん作品の展示が特に良かった。／授業の実践を知る事が出来てよかった。ただ、見学の時間が短すぎる。分科会終了後も見学時間を設けてほしい。／じっくり見たかったです。とてもよかった。／支援教育部の展示報告を見ました。支援学級の先生方が生徒のためにさまざまな企画を実践し、生徒と一緒に楽しんでおられる様子を嬉しく(懐かしく)思いました。／図工部の展示は具体的でとてもよかった。どんな研修がどのように行われたかがよくわかった。まとめもポイントがよくわかり、明日からの指導に役立つものが多かった。／

★詳細は、後日報告集を各学校・園あてに(各学年に1冊程度)送付いたしますので、ぜひご覧ください。